

事務事業事後評価シート[平成28年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	農林部農業振興課		■担当係	水田営農係	
■評価事業名称	農産物の害虫駆除及び植物防疫事業				
■事業開始年度					
■評価事業コード	050200 - 046	■会計区分	一般会計		
■総合計画での位置づけ	■政策	03 ひと・技・資源を組合せ活気うまれるまちづくり			
	■基本施策	03 魅力ある農林業の振興			
	■施策	01 農業の生産性向上			
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策	
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの				
■法令等の名称					
■関連計画の名称					
■事業の目的と概要	水稲、畑作物、果樹の防除計画作成、実績検討などによる農産物の生産力の向上を図る。農産物の害虫駆除、植物防疫に係る活動の実施				

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成 28 年度事業計画	平成 28 年度事業量実績
01	農産物の害虫駆除及び植物防疫事業	県病虫害防除所	・水稲病虫害防除計画報告1回 ・無人ヘリ、大型防除機等購入補助事業 ・有害鳥獣捕獲等事業実施補助事業 ・耕土改良用機械設置補助事業 ・カメムシ、葉いもち病等発生調査 ・病虫害等発生調査活動など	・水稲病虫害防除計画報告4/15 ・斑点米カメムシ防除によるミツバチへの被害防止広報掲載7/22 ・水稲病虫害防除実績報告2回7/29、9/30 ・岩手中部病虫害防除協議会総会4/25 幹事会3回7/20、12/7、3/10

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	備考
直接事業費	1	3	1	1	
人件費	153	402	74	150	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	154	405	75	151	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	25年度	26年度	27年度	28年度	指標の説明
01	水稲病虫害防除活動実績報告回数	2	2	2	2	水稲病虫害防除活動実績報告回数
02	実績検討会開催回数	2	2	2	2	実績検討会開催回数
03	水稲イモチ発生圃場率(%)	100	資料未達	資料未達	葉いもち20%、穂いもち0%	防除事業年報の北上地域より少と微の合計

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況	達成状況の分析	問題点・課題等
☐ A. 順調 ☒ B. 概ね順調 ☐ C. 遅れている	水稻病虫害防除計画により、適正な防除に努めた結果、被害を最小限に抑えることができた。	気象状況により、地域毎に防除時期や回数が異なるが、毎年のように蜜蜂への被害報告があり、連絡協議会で危被害防止の協議をしているが、有効的な手段がない状況にある。
1. 直接的な受益者の範囲 ☐ 不特定多数に及ぶ ☒ 特定されるが多数に及ぶ ☐ 特定少数に限定される	2. 事業廃止の影響 ☒ 大きな不利益やリスクが生じる ☐ ある程度の不利益やリスクが生じる ☐ 不利益やリスクは小さい	3. 国・県・民間との競合関係の有無 ☒ 類似の事業はない ☐ 類似の事業はあるが競合はない ☐ 類似の事業があり競合する
4. 事業へのニーズの変化 ☒ ニーズが高まっている ☐ ニーズは変わらない ☐ ニーズが低下している又は合致しない	5. 施策の改善需要度(市民意識調査) ☐ 順位が高い ☒ 順位が中程度 ☐ 順位が低い	6. 施策の優先度(市民意識調査) ☐ 順位が高い ☒ 順位が中程度 ☐ 順位が低い
7. 他市町村に比較しての優位性 ☐ 先進的またはユニークな事業である ☒ 他と同程度の事業である ☐ 遅れている事業である	8. 実施主体の代替性 ☒ 民間委託等の拡充は難しい ☐ 民間委託等の拡充が十分に可能 ☐ 全部委託や実施主体の移行が可能	9. 経済性・効率性の向上 ☒ 今以上の効率化や改善は難しい ☐ 効率化や改善を図ることは十分に可能 ☐ 効率化や改善の余地が大きい
■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)		■今後の方向性
		☐ I. 拡充 ☐ IV. 廃止・休止 ☒ II. 継続 ☐ V. 完了 ☐ III. 縮小